

日帝の軍事大国化・安保・改憲攻撃を粉碎し、80年代革命勝利を切り拓く

# 12・8革共同大政治集会(5時中之島)へ総結集せよ!

☆革命的武装闘争で三里塚二期決戦に勝利せよ!

☆三里塚の敵・反共愛国⇨祖国防衛主義のカクマルを総せん滅せよ!

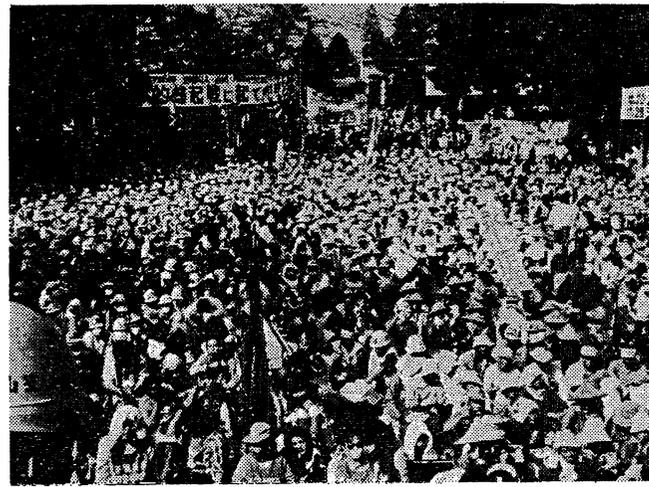
革命的共産主義者同盟

(大阪市淀川区東三国6-23 / TEL 392・2267)

すべての闘う労働者人民諸君  
日本人民は今、重大な岐路に立っている。日本と世界の労働者人民の命運を決める決定的選択がつつけられている。

それは、日帝の軍事大国化攻撃⇨侵略戦争への途に異なる態度をとるのかということだ。日帝の攻撃に屈服し、再び侵略戦争の銃をとりアジア人民を殺戮し、日本全土を核戦争で消滅させ自らと家族をも滅ぼすのか、それとも、その銃を自らの敵日帝支配階級に向け、侵略を内乱に転化し日本帝国主義を打倒するのかということだ。この二つについて中間の途はない。

三里塚二期攻撃粉碎の闘いこそは、まさに日本の労働者人民が、階級の運命をかけて総力決起しなければなら



10・11大集会で、革命的武装闘争を宣言、決意した労農学の大部隊

ない歴史的決起なのだ。

世界戦争の危機が迫っている

すべての闘う労働者人民諸君

世界の危機は破局的に深まり、帝国主義は軍拡と戦争政策につき進み、一切を労働者人民の犠牲の上に強行しようとするさまじい反動攻勢をかけてきている。

なによりも米帝のこの間の動向を見よ。十月六日のエジプト人民によるサダト打倒の怒りの決起に致命的打撃を受けた米帝は、中東支配の危機をむき出しの戦争準備で乗りきらんとしている。九日から始まった米、エジプト、スーダン、オマーン、ソマリアの合同大軍事演習は海兵隊上陸、空いてい部隊降下、米本土から飛来するB52によるリビア国境真近への実弾爆撃等、中東危機爆発への軍事平定作戦そのものだ。また米帝は、ヨーロッパで核戦争をやるつもりだ。それは、「欧州で通常戦争が起きた場合、五日目に核戦争にエスカレートする」(レーガン)、「欧州で核兵器を使用する緊急作戦計画が存在する」(ヘイグ)と大統領、國務長官の直接言明からも明らか

なように、米帝が限定核戦争と称する戦略で核軍拡⇨核戦争へつき進むことを示すものだ。そして米帝は、南アフリカのアンゴラ侵略を全面支援し、自らはボンジュラスとの共同軍事演習で、ニカラガ、エルサルバドルの中米危機鎮圧にのり出しているのだ。

まさしく米帝レーガンは、全世界を戦争⇨核戦争の危機にひきずりこんでいるのだ。これを規定しているものこそ、現下の深刻な経済不況にも表われている米帝の没落である。米帝は、この没落からの脱出のために、なりふりかまわぬむき出しの帝国主義争闘戦⇨戦争政策に訴え、スターリン主義との対決を深めている。

一方スターリン主義も、ポーランド危機を頂点にルーマニア、ユーゴ、チェコとその根本矛盾を爆発させ、帝国主義の攻撃に全く無力であることを暴露している。労働者人民には、このスターリン主義の革命的打倒に決起する以外に突破の途はない。

## 12・8革共同大政治集会

■基調報告 高木 徹

■連帯と決意 三里塚芝山連合空港反対同盟他

■日時 12月8日(火) 午後5時開場

■場所 大阪中之島中央公会堂

(地下鉄・京阪淀屋橋、北浜駅下車徒歩三分)

主催/革命的共産主義者同盟

# 中核派

# 日帝は軍事大国化・安保・改憲攻撃を激化させ、三里塚二期攻撃に踏みきった

帝國主義とスターリン主義の戦後世界体制の崩壊の危機の爆発の中で、日帝は体制的危機を深め、絶望的突破の途を軍大化・改憲という反人民的攻撃に向けた。日帝の洪水的輸出で打撃を受ける米帝、欧州との間に対立が激化し、日帝は孤立化を深めている。とりわけ、「経済で失ったものを軍事で取り返す」米帝の攻勢の前に日帝は決定的にゆさぶられている。日帝は帝國主義として延命その権益を守るためには、独自の軍事力をもつ以外にない。今日、日帝は日米安保をもテコとして、軍大化への途をひた走り始めたのである。そのために、改憲もやろうとしているのだ。今年の『防衛白書』は、「国家体制を守れ」「愛国心をもち」と画次の反動攻勢に出てきたのだ。団体護持、国策遂行のためには、生命を投げ出せ、天皇のために死ねと言いつつ出したのだ。

この反人民的攻撃の頂点に、今日あるのが三里塚二期攻撃だ。農民から土地を強奪し、侵略戦争のための軍事空港を作ろうという攻撃こそが二期工事着工攻撃だ。

このような日帝の凶暴な攻撃に対して、社会党、共産党は屈服して闘おうとしない。公明党にいたっては、自衛隊合憲、安保賛成、有事立法賛成、日韓関係重視とまるで第二自民党のようなことを言い出している。総評は、「路線統一」攻撃の前に、動揺と混乱の極にある。そして同盟は、「国防」を運動方針にかかげ労働報団、労働国防の産業報国会の途をはき清めようとしているのだ。

## 革命的武装闘争こそ唯一の勝利の道だ

すべての闘う労働者人民諸君

このような日帝の凶暴な攻撃一全面反動攻勢と階級の危機に際し、いかに闘うべきなのか。それは、労働者人民が既成指導部をのりこえ、真に革命的路線と方針の下に闘うことだ。革共同を先頭に三里塚反対同盟と全国の支援の攻撃を連え、撃破して勝利することだ。

三里塚闘争こそは、日本人民が三里塚農民を先頭に、十六年間日帝の圍策と対決して、血を流して実力で守り抜いてきた誇るべき内乱の砦である。日帝の軍大化、改憲攻撃の前にたちはだかる、この最大最高の内乱勢力を破壊することなしに、日帝の八〇年代などありえない。だからこそ敵は二期攻撃に踏み切ったのだ。しかし、日帝の最も怖れるものは内乱である。人民が「侵略戦争のため農民を圧殺する日帝こそ死ね」という革命的祖国版北主義で武装し、三里塚を守り三里塚から反撃にでたとき、三里塚内乱は日本全土に拡大し、侵略戦争へつき進む日帝を打倒できるのだ。

この闘いは、最早、武装闘争以外にありえない。機動隊の暴力で土地を強制収用し、家屋をブルドーザーで押しつぶすやり方に対して、平和的闘いは自ら敗北、降伏することだ。革命的武装闘争で空港をあらゆる側面から攻撃し、首都中枢の機能を破壊し、機動隊をせん滅するのだ。百万人民の武装決起で成田空港突入・占拠・解体するのだ。

闘う労働者人民諸君、考えてもみよ！何故、日帝は労働者人民を支配できているのか。北炭夕張で大量に労働者を殺しておいて、何故復讐もされないのか。ブルジョア支配階級が私有財産をもち、それを守るための警察、自衛隊などの暴力を独占しているからだ。この暴力のおかげで、極少数の奴らが、圧倒的多数の労働者人民を支配しているのだ。人民が武装闘争に決起して、



この日帝の暴力と対決して撃破し始めたとき、日帝支配は根底から崩れるのだ。

三里塚農民は、実に十六年間この闘いをやり抜いてきたのだ。この三里塚に、今日明日にも日帝が手をかけようとしている。絶対に見殺しにできない。三里塚農民の運命は日本労働者人民全体のものであり、三里塚闘争の勝利は日本革命の命運がかかっている。今こそ決起して三里塚を防衛しなければならぬ。革命的武装闘争で日帝に目にも見せてやらねばならぬ。日帝は重大な危機にあり脆弱だ。機動隊支配万能神話を革共同を先頭に百万の人民の武装決起でうち破るのだ。

この日本人民の三里塚武装決起こそが、全世界の闘う人民から待ちのぞまれている。イランのモシャヘディン・ハルク、西独を先頭とするヨーロッパ人民、アイルランドのIRA、アメリカ人民、韓国ソウルの学生、ポーランド人民、全世界で圧倒的の人民の決起が始まり、武装闘争が激烈に闘われている。六七年十・八羽田から七〇年闘争の最先頭に立った日本の階級闘争が、今こそ三里塚蜂起戦で、全世界の武装闘争と人民決起の最先頭に立つのだ。

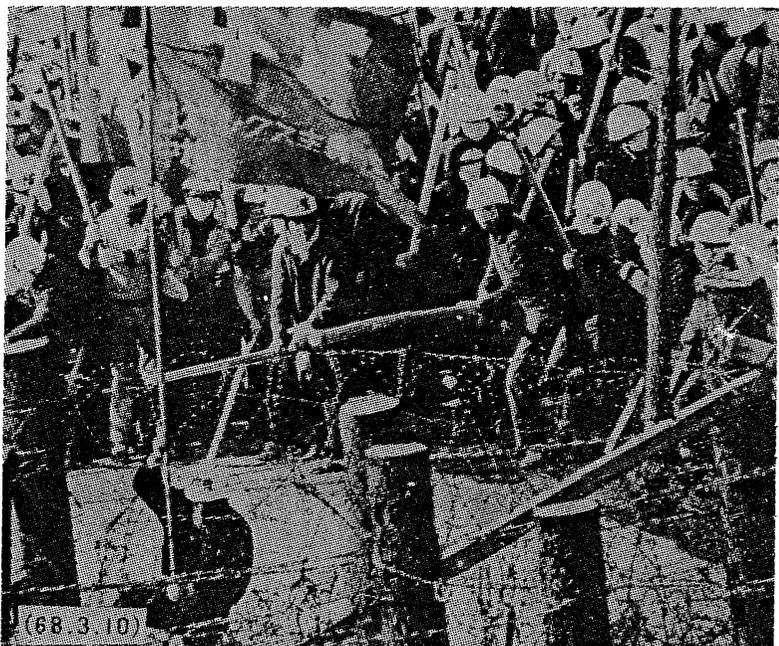
## 反革命カクマルを総せん滅せよ！

日本プロレタリアート人民の革命的武装闘争への決起に心底から恐怖した日帝、国家権力は、革共同への本格的破防法攻撃を準備し、現代のナチス、ファシスト反革命カクマルは、むき出しの白色テロルで絶望の危機のり切りを策している。とりわけカクマルは、三里塚武装闘争の爆発が、己の存立を根底からおびやかし、革共同と人民に打倒一掃されることに恐怖し、「三里塚闘争破壊」をわめきたてている。そして遂には、愛国心を絶叫し、日帝の侵略の先兵として、国策協力し三里塚闘争破壊を誓っているのだ。三里塚武装闘争一蜂起戦に決起するすべての闘う労働者人民は、この三里塚の敵、反共愛国祖国防衛主義に転落したカクマルを総せん滅して、破防法攻撃をうち破り、対日帝権力戦争に勝利しなければならぬ。革命的武装闘争で三里塚二期決戦を闘い、カクマルをせん滅する中で、革共同の先制的内戦戦略こそが、現代革命勝利の唯一の戦略たるものが全面的に開示されるのだ。

## 十二・八革共同集会に総結集せよ！

すべての闘う労働者人民諸君

革共同の革命的武装闘争こそが、唯一の勝利の方針であることは、今や動かし難い現実である。十・一一三里塚現地の一万二千の大結集をみよ！百万の人民が、七〇年をこえる革命的武装闘争で三里塚二期決戦に勝利せよ！という革命的方針を、圧倒的共感をもって受けとめ始めているのだ。この胎動を八二年三・二八へ、更に隊伍を固め、勝利の確信に燃えて武装決起へ進撃せよ。革共同と共に、八〇年代内戦蜂起！権力奪取の勝利を切り拓け！十二・八中ノ島へ総結集せよ！



(68.3.10)